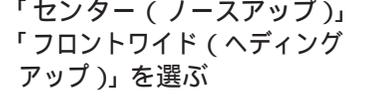
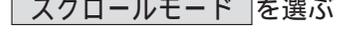
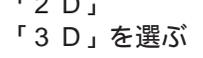
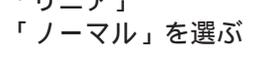
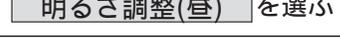
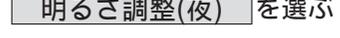
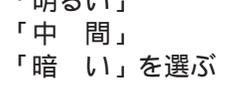
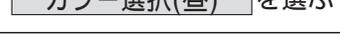
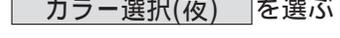
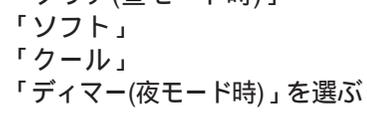
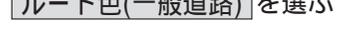
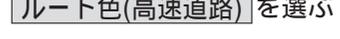
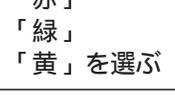
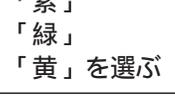
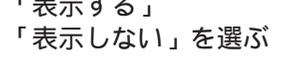
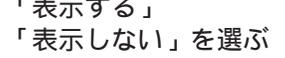


利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

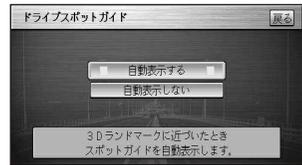
設定項目		内容	操作			
地図表示に関する設定	高速道マップを表示する (準備・基本編:「地図の紹介」)	都市間	都市間高速を走行時、「ハイウェイマップ」か「ハイウェイサテライトマップ」で表示する。	 2 地図表示設定 を選ぶ	 3 高速道マップ(都市間) を選ぶ ◀▶で次ページを表示	 4 「ハイウェイサテライト」「ハイウェイマップ」「表示しない」を選ぶ
		都市内	都市高速を走行時、「ハイウェイマップ」か「都市高マップ」で表示する。			
	フロントワイドで表示する	ノースアップ	進行方向の地図を広く表示するか、自車マークを地図画面の中心に表示する。	 フロントワイド(ノースアップ) を選ぶ  フロントワイド(ヘディングアップ) を選ぶ	 「センター(ノースアップ)」「フロントワイド(ヘディングアップ)」を選ぶ	
		ヘディングアップ				
	3Dスクロール表示を設定する		3D表示の状態での地図の移動を行う。または2D表示に戻して地図の移動を行う。	 スクロールモード を選ぶ	 「2D」「3D」を選ぶ	
	縮尺切り替えを設定する		ズームイン/ズームアウトの感覚で画面を拡大/縮小する。	 縮尺切替 を選ぶ	 「リニア」「ノーマル」を選ぶ	
	画面の明るさを調整する	昼モード	画面の明るさを調整する。	 明るさ調整(昼) を選ぶ  明るさ調整(夜) を選ぶ	 「明るい」「中間」「暗い」を選ぶ	
		夜モード				
	地図画面のカラーを変更する	昼モード	画面のカラーの基本色を変更する。	 カラー選択(昼) を選ぶ  カラー選択(夜) を選ぶ	 「クリア(昼モード時)」「ソフト」「クール」「ディマー(夜モード時)」を選ぶ	
		夜モード				
	ルートの色を変更する	一般道路	一般道のルートの色を変更する。	 ルート色(一般道路) を選ぶ  ルート色(高速道路) を選ぶ	 「赤」「緑」「黄」を選ぶ  「紫」「緑」「黄」を選ぶ	
		高速道路	高速道路のルートの色を変更する。			
	走行軌跡を表示する (58ページ)		自車が走行した軌跡を青い点で表示する。(最長50 kmまで) 「表示しない」を選ぶと、走行軌跡が消去されます。	 走行軌跡 を選ぶ	 「表示する」「表示しない」を選ぶ	
抜け道を表示する (40ページ)		抜け道を表示する。(縮尺: 10 m ~ 400 m) 東京、名古屋、大阪の市街地およびその周辺の観光地のみ。	 抜け道 を選ぶ	 「表示する」「表示しない」を選ぶ		

ナビゲーション設定

利用に応じた設定に変える(地図表示設定)

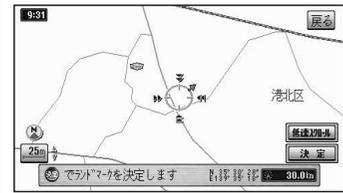
利用に応じた設定に変える

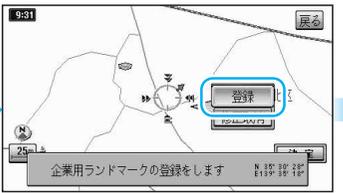
(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目	内容	操作
地図表示に関する設定	<p>1  メニュー画面「情報・設定」から「ナビゲーション設定」を選ぶ</p> <p>ドライブスポットガイドを表示する (準備・基本編: 「地図の見かたと操作を覚えよう」)</p> <p>ランドマークセレクト (準備・基本編: 「地図の見かたと操作を覚えよう」)</p> <p>企業ランドマークを編集する (ランドマークカスタマイズ)</p> <p>地図上にランドマークを追加する。 または、地図上のランドマークを変更/消去する。</p>	<p>2  「地図表示設定」を選ぶ</p> <p>3  「ドライブスポットガイド」を選ぶ ◀▶で次ページを表示</p> <p>4  「自動表示する」「自動表示しない」を選ぶ</p> <p>「おすすめ表示」「3Dランドマーク」表示したいランドマークを選ぶ</p> <p>「ランドマークカスタマイズ」を選ぶ 地図が表示されたら、ランドマークを編集する(下記参照)</p>

ランドマークカスタマイズのしかた

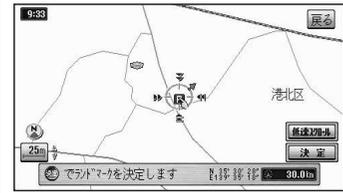
登録する

1 登録したい地点を選ぶ
 サブメニューが表示されます。

2 登録を選ぶ
 ランドマーク一覧が表示されます。

3 ランドマークを選ぶ
 ランドマークが登録されます。

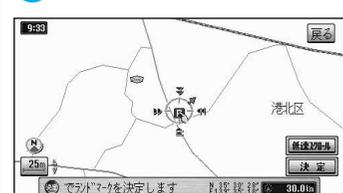
変更する

1 ランドマークを選ぶ
 サブメニューが表示されます。

2 変更を選ぶ
 ランドマーク一覧が表示されます。

3 ランドマークを選ぶ
 選んだランドマークに変更されます。

消去する

1 ランドマークを選ぶ
 サブメニューが表示されます。

2 消去を選ぶ
 ランドマーク一覧が表示されます。

3 確認を選ぶ
 ランドマークが消去されます。

お知らせ

手順②で「修正取消」を選ぶと、地図の中心から半径約5 km前後のランドマークを、出荷時の状態に戻します。

違う業種のランドマークに変更したとき、マークが表示されない場合があります。「ランドマークセレクト」を選んで表示させてください。「デパート、スーパー、カー用品」は、「おすすめ表示」を選ぶと表示されます。

一部のランドマークは、消去しても地図上に表示されている場合があります。そのときは、再度消去してください。

ナビゲーション設定

利用に応じた設定に変える(地図表示設定)

利用に応じた設定に変える

ルート案内中に設定を変更すると、自動的に再探索を行います。

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目		内容	操作		
探索・案内に関する設定	ルートからはずれたときの自動探索を設定する (☞40ページ)	<p>1  メニュー画面「情報・設定」から「ナビゲーション設定」を選ぶ</p> <p>ルートからはずれたとき、自動的に再探索する。 (オートリルート) 通常は「する」に設定してください。</p>	<p>2  「探索案内設定」を選ぶ</p>	<p>3  「オートリルート」を選ぶ ◀▶で次ページを表示</p>	<p>4  「する」「しない」を選ぶ</p>
	細街路探索を設定する (☞36ページ)	出発地・経由地・目的地周辺の細い道(3.3 m以上5.5 m未満)も含めてルートを探査する。		「細街路探索」を選ぶ	「する」「しない」を選ぶ
	インテリジェントルート探索を設定する (☞38ページ)	普段よく通る道を自動的に登録し、ルート探索に反映する。		「インテリジェントルート」を選ぶ	「する」「しない」を選ぶ
	横付け探索を設定する (☞36ページ)	経由地・目的地付近の道幅が広い場合(約13 m以上) 経由地や目的地の地点の前に到着するようにルートを探査する。		「横付け探索」を選ぶ	「する」「しない」を選ぶ
	曜日時間規制探索を設定する (☞36ページ)	規制時間帯(月/曜日/時間)を考慮して探索するか、これらを考慮せずに常時規制されている状態とみなして探索するかを設定する。		「曜日時間規制」を選ぶ	「する」「しない」を選ぶ
	高速道優先のレベルを設定する (☞36ページ)	高速道優先で探索するとき、高速道路を優先する割合を設定する。		「高速道路優先設定」を選ぶ	「高レベル」「標準」を選ぶ
	ハイウェイ分岐案内を表示する (☞準備・基本編:「地図の紹介」)	3Dハイウェイ分岐案内を表示する。		「ハイウェイ分岐案内」を選ぶ	「表示する」「表示しない」を選ぶ
	ハイウェイ入口案内を表示する (☞準備・基本編:「地図の紹介」)	都市高速の入口付近で3Dハイウェイ入口案内を表示する。		「ハイウェイ入口案内」を選ぶ	「表示する」「表示しない」を選ぶ
	ETC拡大図を表示する (☞準備・基本編:「地図の紹介」)	料金所付近でETC拡大図を表示する。 別売のETC車載器を使用している場合に、「表示する」に設定してください。 本機とETC車載器は接続できません。		「ETC拡大図」を選ぶ	「表示する」「表示しない」を選ぶ
	一般道拡大図を表示する (☞準備・基本編:「地図の紹介」)	交差点拡大図	交差点拡大図を表示する。		「交差点拡大図」を選ぶ
レーンガイド		3Dレーンガイドを表示する。		「レーンガイド」を選ぶ	「表示する」「表示しない」を選ぶ

利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

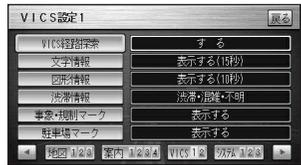
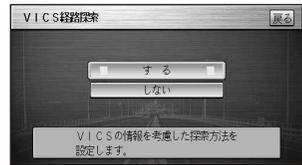
設定項目		内容	操作		
探索・案内に関する設定	方面看板を表示する (準備・基本編:「地図の紹介」)	1  メニュー画面 情報・設定 から ナビゲーション設定 を選ぶ 一般道でのルート案内中、方面看板を表示する。	2  探索案内設定 を選ぶ	3  方面看板 を選ぶ ◀▶で次ページを表示	4  「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	レーン看板を表示する (準備・基本編:「地図の紹介」)	一般道でのルート案内中、レーン看板を表示する。		レーン看板 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	ルートガイドを表示する (準備・基本編:「地図の紹介」)	一般道でのルート案内中、ルートガイドを表示する。		ルートガイド表示 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	カーブの音声案内を設定する	ルート案内中に、カーブの音声案内をする。		カーブ案内 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	分岐点の音声案内を設定する	分岐点までの距離と曲がる方向を音声案内するとき、その交差点名や高速道路の方面名なども案内する。		分岐名称案内 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	残距離表示を設定する (準備・基本編: 「走行中の案内について」)	残りの距離と到着予想時刻の表示を「目的地まで」か「経由地まで」にするかを設定する。		残距離表示 を選ぶ	「目的地」 「経由地」を選ぶ
	到着予想時刻の計算方法を設定する (準備・基本編: 「走行中の案内について」)	到着予想時刻を算出する方法(自動/手動)を選ぶ。手動を選んだ場合、到着予想時刻を算出する際に基準となる平均車速(高速道・一般道)を入力する。		到着予想時刻 を選ぶ	「自動」 「手動」を選ぶ
	目的地方向の表示を設定する	現在地画面または地図モード画面で、目的地方向への直線を表示する。		目的地方向直線 を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ
	ルートスクロールを設定する (46ページ)	ルート案内中、ルートに沿って画面をスクロールし、ルートを確認できる。		ルートスクロール を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
	新旧ルート比較を設定する (42ページ)	DRGS、曜日時間規制探索でルートを変更するとき、変更前と変更後の比較画面を表示する。		新旧ルート比較 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ

ナビゲーション設定

利用に応じた設定に変える(探索案内設定)

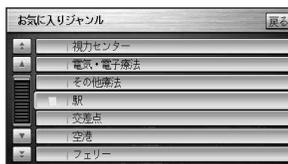
利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目		内 容	操 作		
V I C S に 関 する 設 定	交通情報を利用してルート探索する (☞38ページ)	<p>1 メニュー画面 情報・設定から ナビゲーション設定 を選ぶ</p> <p>ルート探索時に、VICS情報を利用したルート探索を行います。</p>	<p>2 ナビゲーション設定</p> <p>VICS設定 を選ぶ</p>	<p>3 VICS設定1</p> <p>VICS経路探索 を選ぶ</p> <p>◀▶で次ページを表示</p>	<p>4 VICS経路探索</p> <p>「する」 「しない」を選ぶ</p>
	文字情報を表示する (☞65ページ)	<p>ビーコンで受信した文字情報を画面上に自動表示する時間を設定する。 表示時間を過ぎると消去されます。</p>		<p>文字情報 を選ぶ</p>	<p>「表示する(10秒)」 「表示する(15秒)」 「表示する(20秒)」 「表示しない」を選ぶ</p>
	図形情報を表示する (☞65ページ)	<p>ビーコンで受信した図形情報を画面上に自動表示する時間を設定する。 表示時間を過ぎると消去されます。</p>		<p>図形情報 を選ぶ</p>	<p>「表示する(10秒)」 「表示する(15秒)」 「表示する(20秒)」 「表示しない」を選ぶ</p>
	渋滞情報を表示する (☞68ページ)	<p>渋滞情報を受信したときに渋滞を示す矢印を地図上にどのタイプで表示させるか設定する。</p>		<p>渋滞情報 を選ぶ</p>	<p>「渋滞・混雑・渋滞なし」 「渋滞・混雑・不明」 「渋滞・混雑」 「表示しない」を選ぶ</p>
	事象・規制マークを表示する (☞69ページ)	<p>事象・規制マークを地図上に表示する。</p>		<p>事象・規制マーク を選ぶ</p>	<p>「表示する」 「表示しない」を選ぶ</p>
	駐車場マークを表示する (☞68ページ)	<p>駐車場マークを地図上に表示する。</p>		<p>駐車場マーク を選ぶ</p>	<p>「表示する」 「表示しない」を選ぶ</p>
	VICS情報受信時の案内方法を設定する	<p>案内方法を設定する。 「音声」 : 「(.....)でVICS情報を受信しました」と音声で案内します。 「ピープ音」 : 「ピッ」の音で案内します。 「案内しない」 : 受信時の案内は行いません。</p>		<p>VICS受信案内 を選ぶ</p>	<p>「音声」 「ピープ音」 「案内しない」を選ぶ</p>
	渋滞状況を自動表示する (☞44ページ)	<p>VICS音声案内時に、ルート前方の渋滞状況を地図表示する。(VICSオートスケール)</p>		<p>VICSオートスケール を選ぶ</p>	<p>「する」 「しない」を選ぶ</p>
	FM文字多重放送を自動的に表示する (☞72ページ)	<p>停車するとFM文字多重放送を自動表示する。(FMインフォメーション)</p>		<p>FMインフォメーション を選ぶ</p>	<p>「自動表示する」 「自動表示しない」を選ぶ</p>
	チューナー設定 (☞66ページ)	<p>受信状態によって放送局を自動的に切り替える。(ネット選局)</p>		<p>チューナー設定 を選ぶ</p>	<p>「する」 「しない」を選ぶ</p>

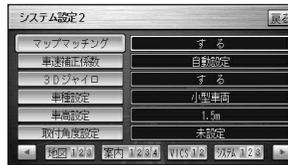
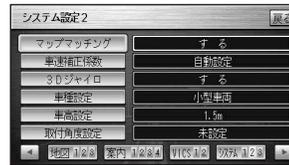
利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目		内 容		操 作	
システムに関する設定	ビープ音を設定する	 <p>メニュー画面 情報・設定から ナビゲーション設定 を選ぶ</p>	 <p>システム設定 を選ぶ</p>	 <p>ビープ音 を選ぶ</p> <p>◀▶で次ページを表示</p>	 <p>「ON」 「OFF」を選ぶ</p>
	トークバック音声を設定する	<p>トークバックする/しないを設定する。 操作した内容を音声案内することを「トークバック」と言います。本機の場合、ルート案内・VICS音声案内以外の音声のことです。 例：「周辺施設検索を開始します」など</p>		<p>トークバック を選ぶ</p>	<p>「する」 「しない」を選ぶ</p>
	オープニング画面を設定する (☞118ページ)	<p>HDDに保存した静止画データをオープニング画面として利用する。</p>		<p>オープニング を選ぶ</p>	<p>「カスタマイズ」を選び、 画像を設定する。 「標準に戻す」を選ぶ</p>
	メニュー画面の背景を設定する (☞118ページ)	<p>HDDに保存した静止画データをメニュー画面の背景として利用する。</p>		<p>メニュー背景 を選ぶ</p>	<p>「カスタマイズ」を選び、 画像を設定する。 「標準に戻す」を選ぶ</p>
	お気に入りジャンルを設定する	<p>検索によく使うジャンルを「お気に入りジャンル」としてまとめて、ジャンル検索や周辺検索のときに役立てる。</p>		<p>お気に入りジャンル を選ぶ</p>	<p>「駅」 「ガソリンスタンド」 「駐車場」 「ファーストフード」 「ファミリーレストラン」 「都市銀行」 「地方銀行」 「コンビニエンスストア」</p> <p>ジャンルを選ぶ ジャンル一覧表 (☞153ページ)</p>  <p>施設ジャンル名と企業名・小分類を登録できます。</p>

利用に応じた設定に変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目		内容	操作		
システムに関する設定	マップマッチングを設定する	<p>1  メニュー画面「情報・設定」から「ナビゲーション設定」を選ぶ</p> <p>マップマッチングを設定する。 通常は「する」に設定してください。 「しない」に設定すると、ルート案内やオートリルートなどを行いません。</p>	<p>2  「システム設定」を選ぶ</p>	<p>3  「マップマッチング」を選ぶ</p> <p>◀▶で次ページを表示</p>	<p>4  「する」「しない」を選ぶ</p>
	車速補正係数を設定する	<p>車速補正係数を、自動または手動に設定する。 通常は、「自動」に設定してください。</p>		<p>「車速補正係数」を選ぶ</p>	<p>「自動設定」「手動設定」を選ぶ 「手動設定」を選んだ場合は、車速補正係数を入力する</p>
	ジャイロセンサーを設定する	<p>ジャイロセンサーからの情報を考慮したマップマッチングをする。 通常は「する」に設定してください。</p>		<p>「3Dジャイロ」を選ぶ</p>	<p>「する」「しない」を選ぶ</p>
	車種を設定する (☞8ページ)	<p>車種の情報をもとに、条件に合った駐車場を検索する。 また、VICS情報と参照し、交通情報作成に役立てる。 別売のVICSビーコンユニットが必要です。</p>		<p>「車種設定」を選ぶ</p>	<p>車両の種類を選ぶ お買い上げ時の設定「小型車両」</p>
	車高を設定する (☞8ページ)	<p>車高の情報をもとに、条件に合った駐車場を検索する。</p>		<p>「車高設定」を選ぶ</p>	<p>車高を選ぶ お買い上げ時の設定「1.5 m」</p>
	ナビゲーション本体の取付角度を設定する (☞8ページ)	<p><small>サラス</small> SALAS(☞139ページ)による、立体駐車場で<small>の</small>自転車位置制度を向上させるため、取付角度を調整する。</p>		<p>「取付角度設定」を選ぶ</p>	<p>付属の取付ゲージで測定した角度に設定する お買い上げ時の設定「未設定」</p>
	画面位置を調整する (☞10ページ)	<p>画面の位置が気になる場合に調整する。 通常、この操作は必要ありません。</p>		<p>「画面位置調整」を選ぶ</p>	<p>画面位置を調整する お買い上げ時の設定「X:0、Y:0」</p>
	画面を昼/夜で切り替える	<p>昼画面と夜画面の切り替えを設定する。 「自動切替」を選ぶと、時間帯に応じて昼画面と夜画面が自動的に切り替わります。 (切り替わる時刻は、月によって異なります。)</p>		<p>「昼夜切替」を選ぶ</p>	<p>「昼画面」「夜画面」「自動切替」を選ぶ</p>
	タッチパネルの位置を調整する (☞10ページ)	<p>タッチパネルで項目をうまく選べない場合に調整する。 通常、この操作は必要ありません。</p>		<p>「タッチパネル調整」を選ぶ</p>	<p>タッチパネルを調整する</p>
本機の内容をお買い上げ時の状態に戻す	<p>登録ポイントなどの情報や、設定した内容がすべて消去される。 十分確認のうえ、行ってください。</p>		<p>「システムの初期化」を選ぶ</p>	<p>「初期化する」「前の画面に戻る」を選ぶ</p>	

ナビゲーション設定

利用に応じた設定に変える(システム設定)

利用に応じた設定に変える

ナビゲーション設定を登録する

(モードセレクト/ユーザー登録)

お好みの設定(現在の設定)内容を登録できます。(最大3件まで)

① メニュー画面 **情報・設定** から **ナビゲーション設定** を選ぶ



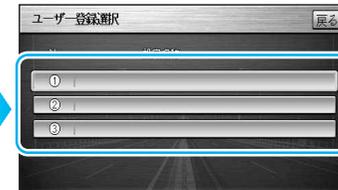
② **モードセレクト** を選ぶ



③ **ユーザー登録** を選ぶ



④ ①～③を選ぶ



⑤ 名称を入力し、**完了** を選ぶ



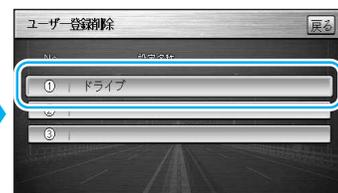
現在の設定内容が登録されます。

ユーザー登録した設定を解除(削除)する

① 上記手順③で **登録解除** を選ぶ



② 解除するモードを選ぶ



③ **確認** を選ぶ



ユーザー登録した設定に切り替える

(モードセレクト/ユーザー設定)

① ナビゲーション設定画面から **モードセレクト** を選ぶ



② **ユーザー設定** を選ぶ



③ ①～③を選ぶ



選んだモードに切り替わります。



お知らせ

おぼえのために、設定内容を記入してください。(P.90ページ)

お知らせ

手順②で「標準モード」を選ぶと、お買い上げ時の設定に戻ります。ただし、「ランドマークセレクト」および「システム設定」の全項目は、前の設定値のままになります。

利用に応じた設定に変える

ユーザー設定一覧表

①～③は、ユーザー登録の内容をご記入ください。(P.88ページ)

ユーザー設定		標準モード	①	②	③	ページ	ユーザー設定		標準モード	①	②	③	ページ		
地図表示設定	高速道マップ(都市間)	ハイウェイサテライト				74	VIC S 設定	VICS経路探索	する				82		
	高速道マップ(都市内)	都市高マップ						文字情報	表示する(15秒)						
	フロントワイド(ノースアップ)	センター						図形情報	表示する(10秒)						
	フロントワイド(ヘディングアップ)	フロントワイド						渋滞情報	渋滞・混雑・不明						
	スクロールモード	3 D						事象・規制マーク	表示する						
	縮尺切替	リニア						駐車場マーク	表示する						
	明るさ調整(昼)	中間						VICS受信案内	ビーブ音						
	明るさ調整(夜)	中間						VICSオートスケール	しない						
	カラー選択(昼)	クリア						FMインフォメーション	自動表示する						
	カラー選択(夜)	ディマー						チューナー設定(ネット選局)	する						
	ルート色(一般道路)	赤						システム設定	ビーブ音	(前の設定値のまま)					84
	ルート色(高速道路)	紫							トークバック	(前の設定値のまま)					
	走行軌跡	表示する					オープニング		(前の設定値のまま)						
	抜け道	表示する					メニュー背景		(前の設定値のまま)						
	ドライブスポットガイド	自動表示する					お気に入りジャンル		(前の設定値のまま)						
	ランドマークセレクト	(前の設定値のまま)					マップマッチング		(前の設定値のまま)						
ランドマークカスタマイズ	---				車速補正係数	(前の設定値のまま)									
					3Dジャイロ	(前の設定値のまま)									
探索・案内設定	オートルート	する				78	システム設定	車種設定	(前の設定値のまま)				86		
	細街路探索	する						車高設定	(前の設定値のまま)						
	インテリジェントルート	しない						取付角度設定	(前の設定値のまま)						
	横付け探索	する						画面位置調整	(前の設定値のまま)						
	曜日時間規制	する						昼夜切替	(前の設定値のまま)						
	高速道路優先設定	標準						タッチパネル調整	(前の設定値のまま)						
	ハイウェイ分岐案内	表示する						システムの初期化	---						
	ハイウェイ入口案内	表示する													
	ETC拡大図	表示しない													
	交差点拡大図	表示する													
	レーンガイド	表示する													
	方面看板	表示する													
	レーン看板	表示する													
	ルートガイド表示	しない													
	カーブ案内	する													
	分岐名称案内	する													
	残距離表示	経由地													
	到着予想時刻	自動													
	目的地方向直線	表示しない													
	ルートスクロール	しない													
新旧ルート比較	する														

テレビを見る

車内でテレビを見ると、電波の受信状態が悪く、テレビの映りがよくない場合は、別売のダイバーシティアンテナ(CL-T70D/CL-T80D/CL-T90D)をご利用ください。

テレビ画面に切り替える

① **モード** を押す



押すごとに、モード(画面)が切り替わります。

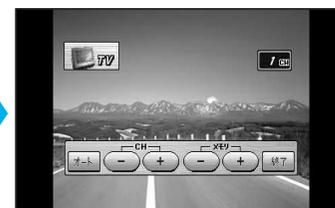
ナビ画面 → テレビ画面 → VTR画面 1
↑ カメラ画面 2

② チャンネルを記憶させる



下記参照

③ チャンネルを選ぶ



下記参照

④ 音量を調整する



お知らせ

テレビの音声はモノラルです。

1 ビデオ入力が「する」に設定されている場合のみ (P.96ページ)

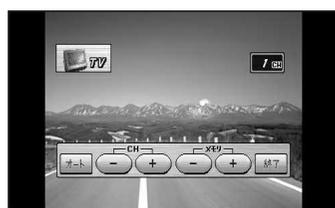
2 カメラ入力が「する」に設定されている場合のみ (P.96ページ)

接続方法によっては、カメラ画面に切り替えてもカメラの画像が表示されず、シフトレバーを「リバース(R)」に入れたときのみ表示される場合があります。

チャンネルを選ぶ

チャンネルを記憶させて選ぶ (オートメモリー)

① 画面の一部をタッチして、メニューを表示させる

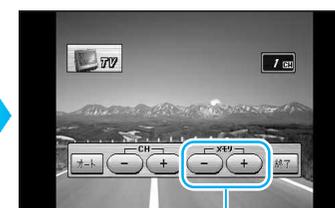


② **オート** を2秒以上タッチする



受信できるチャンネルを自動的に探して記憶します。(最大18局)

③ 記憶されたチャンネルを選ぶ



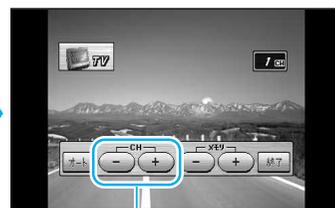
記憶したチャンネルに切り替わります。1秒以上タッチすると、もう一度チャンネルを記憶しなおします。

チャンネルをひとつずつ選ぶ (手動選局)

① 画面の一部をタッチして、メニューを表示させる



② 1チャンネルずつ切り替える



1秒以上タッチすると、選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

走行中は、テレビの映像は表示されません。

安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

右は、走行中の画面例です。



お知らせ

記憶されたチャンネルは、操作するたびに更新されます。

電波状況により、映らない(画質が悪い)チャンネルが記憶されることもあります。

受信できるチャンネルが見つからないときは、1周してもとのチャンネルに戻ります。

10キーでチャンネル番号を入力して選ぶこともできます。

リモコン操作の場合

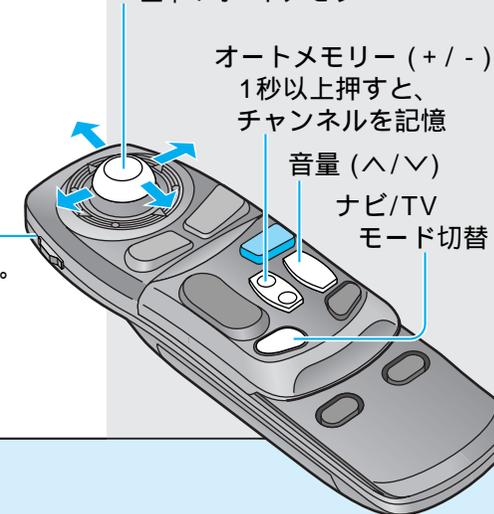
ジョイスティック
左右: 手動選局/シーク選局
上下: オートメモリー

オートメモリー (+/-)
1秒以上押しすと、チャンネルを記憶

音量 (▲/▼)

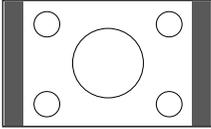
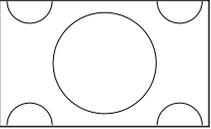
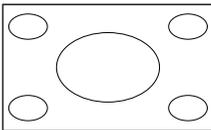
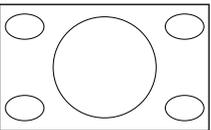
ナビ/TV
モード切替

操作切替スイッチ
「NAVI TV」側で使用してください。



音声/映像の設定を変える

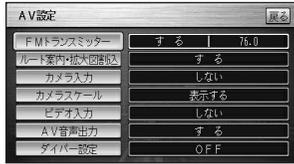
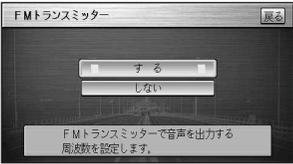
(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目	内容	操作	
<p>1  メニュー 行き先 を押す</p> <p>約10秒間何も操作しないと、メニューは消去されます。</p>		<p>2  アスペクト切替</p>	<p>3 </p>
<p>画面の比率を変える (アスペクト)</p>	<p>画面の表示を切り替えます。</p> <p>営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。</p> <p>ワイドでない通常 (4 : 3) の映像をフル・ズーム・ジャストなどで画面いっぱいに拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形したりします。制作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルでご覧ください。</p>	<p>アスペクト切替 を選ぶ</p>	<p>「ノーマル」  通常の4 : 3 (横 : 縦) の画面。左右が黒くなります。</p> <p>「ズーム」  ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて伸ばした画面。上下が少しカットされます。</p> <p>「フル」  全体を横方向に伸ばした画面。どの位置でも、伸ばす比率は同じです。</p> <p>「ジャスト」  横方向に伸ばした画面。両端に近いほど、伸ばす比率が大きくなります。</p>
<p>画面の明るさを調整する</p>	<p>「+」明るくなる 「-」暗くなる</p>	<p>明るさ設定 を選ぶ</p>	<p>調整し、終了 を選ぶ。 調整範囲 - 15 ~ ±0 ~ + 15</p> 
<p>色の濃さを調整する</p>	<p>「+」色が濃くなる 「-」色が薄くなる</p>	<p>色の濃さ設定 を選ぶ</p>	<p>調整し、終了 を選ぶ。 調整範囲 - 15 ~ ±0 ~ + 15</p> 
<p>色合いを調整する</p>	<p>「+」緑色が強くなる 「-」赤色が強くなる</p>	<p>色合い設定 を選ぶ</p>	<p>調整し、終了 を選ぶ。 調整範囲 - 15 ~ ±0 ~ + 15</p> 
<p>白と黒の差 (コントラスト) を調整する</p>	<p>「+」白と黒の差がはっきりする 「-」白と黒の差が小さくなる</p>	<p>コントラスト設定 を選ぶ</p>	<p>調整し、終了 を選ぶ。 調整範囲 - 15 ~ ±0 ~ + 15</p> 

テレビの画質が調整できます。この調整で、ナビゲーションの画質は変わりません。

音声/映像の設定を変える

(太字はお買い上げ時の設定です。)

設定項目	内容	操作		
<p>1</p>  <p>メニュー 行き先 を押す</p> <p>ナビゲーションのメニュー画面「情報・設定」から、「AV設定」を選んでも、AV設定画面が表示されます。</p> <p>約10秒間何も操作しないと、メニューは消去されます。</p>		<p>2</p> 	<p>3</p> 	<p>4</p> 
FMトランスミッターを設定する (☞124ページ)	FMトランスミッターを使用する/しないを設定する。 「する」を選んだ場合は、周波数(76.0~78.4 MHz)を設定してください。	AV設定 を選ぶ	FMトランスミッター を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
テレビ/VTR画面表示中に拡大図を表示する/しないを設定する	テレビ/VTR画面を表示中に交差点などに近づくと、交差点拡大図やハイウェイ分岐案内などの自動表示を行い、通過後、元の画面に戻ります。 現在地画面で音楽再生中は、再生を一時停止して、ルート音声案内などを行います。		ルート案内・拡大図割込 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
カメラ入力を設定する (☞124ページ)	車載用カメラを接続する/しないを設定する。 車両信号情報画面から「リバーズ」を確認するときは、「しない」に設定してください。(☞取付説明書)		カメラ入力 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
カメラスケール表示を設定する	カメラ画面にカメラスケールを表示する/しないの設定や、カメラスケールの調整をする。 車載用カメラが、チェンジレバーをリバーズに入れると電源がONになるように接続されている場合、以下の方法で設定してください。 ① AV設定 カメラ入力を「しない」に設定する。 ② チェンジレバーをリバーズに入れる。 ③ AV設定 カメラスケールから「表示する」を選び、カメラスケールを調整する。 ④ AV設定 カメラ入力を「する」に設定する。		カメラスケール を選ぶ	「表示する」 「表示しない」を選ぶ 「表示する」を選んだ場合は、カメラスケールの調整をする。 幅と角度を調整し、決定 を選ぶ。  
ビデオ入力を設定する (☞124ページ)	車載用ビデオなどを接続する/しないを設定する。		ビデオ入力 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
本機のスピーカーから出力される音声を設定する	本機のスピーカーから、音楽再生、動画再生、テレビ、VTRの音声を出力する/しないを設定する。		AV音声出力 を選ぶ	「する」 「しない」を選ぶ
ダイバーシティアンテナを設定する (☞取付説明書： 「他の機器(別売品)と組み合わせて使う」)	別売のダイバーシティアンテナでテレビを受信する(ON)/しない(OFF)を設定する。 付属のフィルムアンテナを使用する場合は、「OFF」に設定してください。		ダイバー設定 を選ぶ	「ON」 「OFF」を選ぶ

SDメモリーカード/エンタメバンク

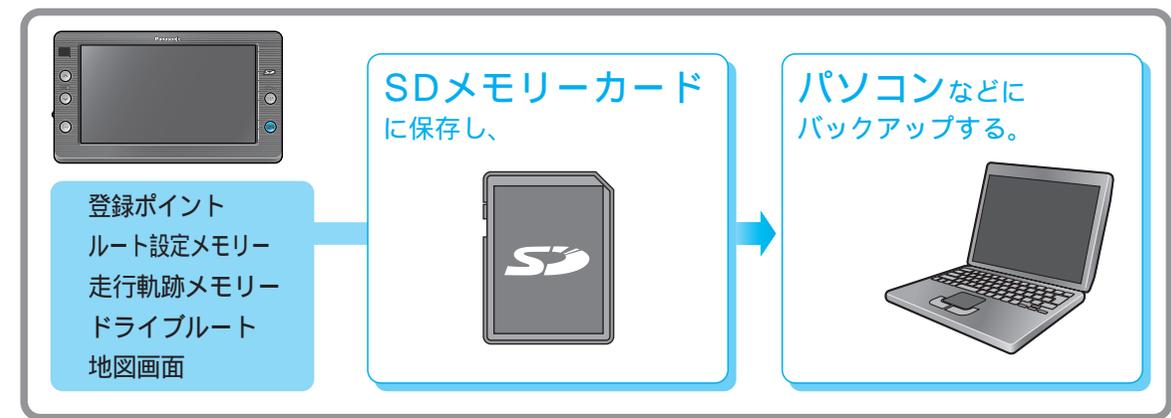
SDメモリーカードのデータを本機で利用する

音楽データ、静止画データ、動画データを本機で再生したり、パソコンなどにバックアップを取ったナビゲーションのデータ（登録ポイントなど）を呼び出して、利用できます。



本機のデータをSDメモリーカードに保存する

登録ポイント、ルート設定メモリー、走行軌跡メモリー、ドライブルートのデータをSDメモリーカードに保存し、万一の備えとしてバックアップできます。(☞106ページ)
また、地図画面をSDメモリーカードに取り込んで、パソコンやPDAなどで見ることができます。



SDメモリーカード(別売)について

データを記録するためのカードで、SDオーディオや動画ファイルの記録媒体として、よく用いられています。

本機では、マルチメディアカードやスマートメディアを使うことはできません。

SDメモリーカード(推奨品)

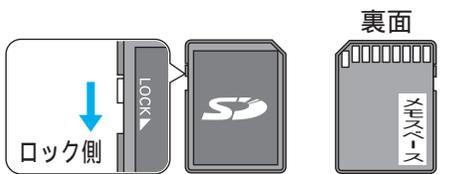
容量	品番(パナソニック製)
32 MB	: RP-SD032BL1A
64 MB	: RP-SD064BL1A
128 MB	: RP-SD128BL1A
256 MB	: RP-SDH256N1A
512 MB	: RP-SDH512N1A

大切なデータを保護するために

読み込み専用で使用するときは、書き込み禁止スイッチをロック側(LOCK)にすることを推奨します。

通常使用するときには、書き込みができるようにロックを解除してください。

メモスペースに文字を書くときは、フェルトペン(油性)をお使いください。鉛筆やボールペンを使うと、カードに損傷を与えたり、データが破壊されたりすることがあります。



容量について

本機は、音楽データ、静止画データ、動画データを合わせて、最大約12GBまで保存できます。

12GBで保存できるデータの目安

音楽データ：1曲5MBとして最大約2400曲
 静止画データ：1枚0.4MBとして最大約29700枚
 動画データ：解像度176×144、ビットレート100 kbpsとして最大約276時間

各数値は目安です。実際の使用状況により、保存できる量は異なります。

ファイル作成時の留意点

音楽データ (MP3)

MP3 (エムピースリー) とは

MPEG 1 Audio Layer3の略称。MPEGはビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。MP3は、MPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで、人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより、音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。

MPEG2 Audio Layer 3 LSF、MP3i、MP3 PRO、WMA、SDオーディオは再生できません。

音楽データをMP3ファイルにエンコード(変換)するときは

サンプリング周波数

「44.1 kHz」に設定してください。必須
ビットレート

「固定」に設定してください。必須
「56 kbps」～「320 kbps」
(推奨:「128 kbps以上(CD音質並)」)

可変ビットレート (VBR) で記録されたファイルは、再生できません。

再生時の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートなどの設定によって異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。

MP3ファイルには、必ず拡張子「MP3」を付けてください

「MP3」以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付かなかった場合は、本機に保存できません。

MP3ファイル以外のデータには、拡張子「MP3」を付けしないでください

MP3ファイル以外のデータに拡張子「MP3」を付けて本機に保存しても、再生できません。

プレイリスト機能には対応していません

本機では、ファイル/フォルダを50音順に並べ替えて再生されます。ファイル名/フォルダ名の頭に「01」～「99」などと入力することで、順番を設定できます。

著作権について

音楽・静止画・動画などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないで複製(録音) 配信、配付、配信することは著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

ファイル数/フォルダ数の制限

フォルダの階層数: 8階層

ファイル/フォルダ数

1フォルダにつき、ファイルとフォルダの合計が99まで

文字の表示上の制限について

対応文字形式:

JIS形式(漢字は第1水準まで)

ミュージックリスト

フォルダ名: 半角36文字(全角18文字)まで

ファイル名: 半角30文字(全角15文字)まで

詳細情報画面

アルバム名/曲名/アーティスト名およびファイル名

それぞれ半角40文字(全角20文字)まで

タイトル表示

半角30文字(全角15文字)まで

拡張子含まず

ID3 Tagについて

ID3 Tag Ver.1.xに対応しています。

アルバム名/曲名/アーティスト名を表示できます。

お知らせ

本機にはMP3エンコーダソフトは付属されておりません。

フォルダの中にMP3ファイルがない場合でも、本機ではひとつのフォルダとして数えます。

SDメモリーカードリーダー/ライターの相性やエンコーダの種類・バージョンによって、正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

ファイル名に全角小文字を使用しないでください。本機に保存できません。

動画データ (MPEG4)

MPEG (エムペグ) とは

Moving Picture Experts Groupの略称。カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の一つです。MPEG4 はモバイル機器やネットワーク上での利用を目的に作られた圧縮方式で、低ビットレートでも高能率で録画できます。

本機で再生できるMPEGファイル

本機は、弊社製DVDレコーダー、SDマルチカメラ、携帯電話、デジタルビデオカメラで録画/撮影されたMPEG4のファイルを再生できます。

Motion JPEGは再生できません。

対応機種について

DVDレコーダー(DIGA)

DMR-E100H DMR-E200H

SDマルチカメラ(D-snap)

SV-AV30 SV-AV35

SV-AV50 SV-AV100

エクストラファインで撮影したファイルは再生できません。

携帯電話

(mov) P505i P505iS

(FOMA) P900i

デジタルビデオカメラ(DIGICAM)

NV-GS200K NV-GS55K

NV-GS100K NV-GS70K

NV-GS50K

動画編集ソフト SD-MovieStage

詳しくは http://www.mylets.jp/panasonic_soft

ファイル/フォルダ/アルバム数/容量の制限

SDメモリーカード内のフォルダ数: 999まで

本機に保存できるアルバム数: 999まで

本機に保存できるファイル数:

1アルバムにつき300ファイルまで

容量: 1ファイルにつき512MBまで

お知らせ

スーパーファイン/ファインモードはQ-VGAで、エコノミーモードはQ-CIFまたはSUB Q-CIFで保存されます。

アスペクト比は4:3(ノーマル)固定です。

動きの早い映像など、ファイルの内容によっては、スムーズに再生できない場合があります。

静止画データ (JPEG)

JPEG (ジェイペグ) とは

Joint Photographic Experts Groupの略称。カラー静止画を圧縮、展開する規格の一つです。静止画データの保存形式としてJPEGを選べば、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

本機で再生できるJPEGファイル

画素数: 450万画素以下

形式: DCF規格に準拠したJPEG形式
(デジタルカメラなどで記録したもの)

DCF: Design rule for Camera File system

[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格] DCF規格に準拠していないJPEGファイルは、再生できない場合があります。

Motion JPEGは再生できません。

ファイル/フォルダ/アルバム数/容量の制限

SDメモリーカード内のフォルダ数: 999まで

本機に保存できるアルバム数: 999まで

本機に保存できるファイル数:

1アルバムにつき300ファイルまで

容量: 1ファイルにつき2.5MBまで

お知らせ

画面よりサイズの大きな画像は、画面サイズに合わせ縮小されます。

画面よりサイズの小さな画像は、そのままのサイズで表示されます。

マップルデータ

マップルデータとは

市販のパソコンソフト「Super Mapple・Digital (発売元:昭文社)を使ってインターネットのサイトからダウンロードしたカスタム情報交換ファイル(拡張子RCX)のことです。

本機は、このデータをもとに施設を検索できます。

お知らせ

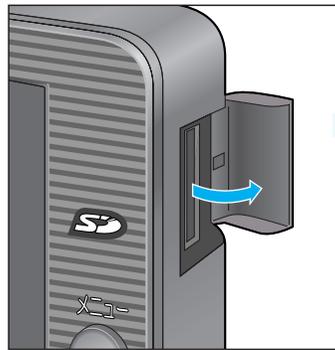
市販のパソコンソフト「Super Mapple・Digital (Ver.3以降)」が別途必要です。Super Mapple・Digitalの取扱説明書も併せてご覧ください。

SDメモリーカードを使う

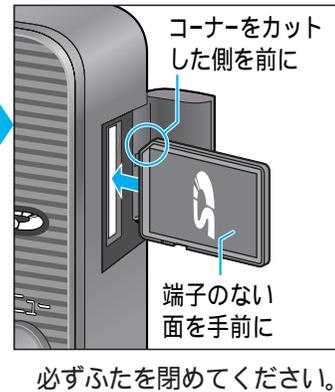
SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源または車のACCをOFFにしないでください。

SDメモリーカードを本機に入れる

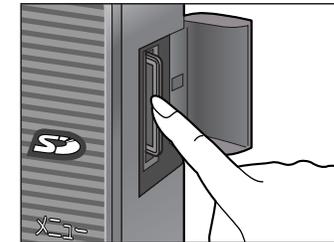
1 ふたを開ける



2 SDメモリーカードを奥まで挿入する

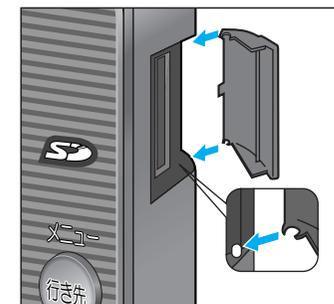


取り出すには SDメモリーカードの中央部を押す

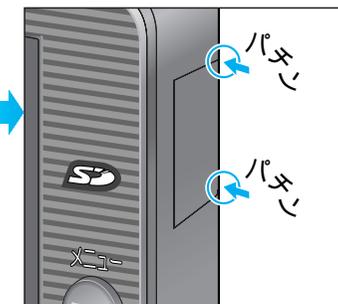


ふたがはずれたときは

1 ふたの穴を、本体の突起に合わせる



2 下図の位置を押して、ふたをはめる



お知らせ

SDメモリーカードを抜き挿しするときは、本機の電源をOFFにすることをお奨めします。
長時間お使いになったあと、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
カードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
現在地画面表示中にSDメモリーカードを挿入すると、メニュー画面「エンタメバンク」が自動的に表示されます。

本機からSDメモリーカードにデータを保存する

1 メニュー画面「データ」からSDを選ぶ

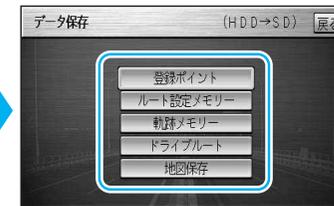


「SDメニュー画面」が表示されます。

2 HDD SDを選ぶ



3 保存する項目を選ぶ (※104ページ)



お知らせ

登録ポイント、ルート設定メモリー、走行軌跡メモリーは、下記の方法でも保存できます。

- 登録ポイント：
メニュー画面「データ」
- ルート設定メモリー：
メニュー画面「データ」
- 走行軌跡メモリー：
メニュー画面「データ」

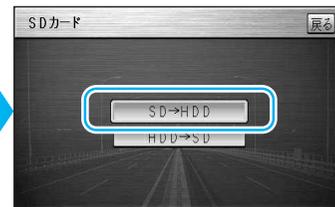
SDメモリーカードから本機にデータを読み込む

1 メニュー画面「データ」からSDを選ぶ

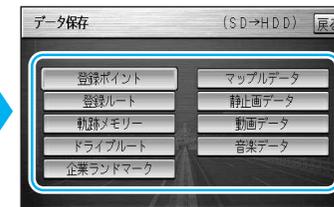


「SDメニュー画面」が表示されます。

2 SD HDDを選ぶ



3 読み込む項目を選ぶ (※106ページ)



お知らせ

登録ポイント、ルート設定メモリー、走行軌跡メモリーは、下記の方法でも読み込めます。

- 登録ポイント：
メニュー画面「データ」
- ルート設定メモリー：
メニュー画面「データ」
- 走行軌跡メモリー：
メニュー画面「データ」

本機からSDメモリーカードに保存する

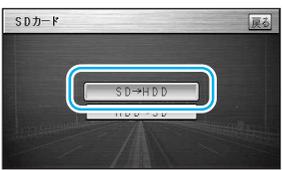
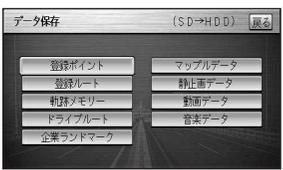
SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源または車のACCをOFFにしないでください。

項目		操作			備考	
1  <p>SDメニュー画面(※102ページ)から HDD SD を選ぶ</p>		2 			5 	
3 		4 				
登録ポイントを保存する	1地点	登録ポイント を選ぶ	1地点ずつ を選び、リストから地点を選ぶ	新しいファイルを作る 新規ファイルに保存 を選ぶ	ファイル名を入力し、 完了 を選ぶ	全角10文字(半角20文字)まで自動的に拡張子(PMF)が付きます。自宅やワンタッチ探索地点を保存しても、普通の登録ポイントとして保存されます。(自宅、ワンタッチ探索地点として保存されません。)
	全地点		全地点一括 を選ぶ	新しいファイルを作る 新規ファイルに保存 を選ぶ	リストから地点ファイルを選ぶ	
ルート設定メモリーを保存する		ルート設定メモリー を選ぶ	リストからルート設定メモリーを選ぶ	ファイル名を入力し、 完了 を選ぶ		全角10文字(半角20文字)まで自動的に拡張子(RMF)が付きます。
走行軌跡メモリーを保存する		軌跡メモリー を選ぶ	リストから走行軌跡メモリーを選ぶ	ファイル名を入力し、 完了 を選ぶ		全角10文字(半角20文字)まで自動的に拡張子(SMF)が付きます。
ドライブルートを保存する	1ルート	ドライブルート を選ぶ	1ルートずつ を選び、リストからドライブルートを選ぶ	ファイル名を入力し、 完了 を選ぶ		全角10文字(半角20文字)まで自動的に拡張子(DRS)が付きます。 全ルート一括 を選んだ場合、入力した名称のフォルダが作られ、その中にすべてのドライブルートが保存されます。各ドライブルートのファイル名は、自動的に出発地と目的地の名称が付きます。
	全ルート		全ルート一括 を選ぶ	フォルダ名を入力し、 完了 を選ぶ		
地図画面を保存する 地図画面をJPEGファイルとして保存し、パソコンやPDA(ザウルスなど)で見ることができます。	パソコン用	地図保存 を選ぶ	1画面 を選ぶ	場所を選び、 決定 を選ぶ 縮尺切替、スクロール、回転、傾き切替ができます。	ファイル名を入力し、 完了 を選ぶ	保存できる地図画面は、スタンダードマップとドライビングマップのみです。地図上のルート表示、登録ポイント、自転車マーク、VICSレベル3情報も画像として保存されます。(「1画面」時のみ)保存した地図をザウルスで見るときは、「フォトメモリー」で表示してください。(地図ビューアーで見ることができません。)1画面サイズ:全角10文字(半角20文字)までザウルスファイル:半角英数8文字まで
	PDA用		ザウルス を選ぶ	場所を選び、 決定 を選ぶ 縮尺切替、スクロール、回転ができます。	ファイル名を入力し、 完了 を選ぶ 「_ZAURUS」フォルダの中に保存されます。	

本機からSDメモリーカードに保存する SDハンズオン

SDメモリーカードから本機に保存する

SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源または車のACCをOFFにしないでください。

項目		操作		備考		
1  SDメニュー画面(☞102ページ)から SD HDD を選ぶ		2  データ保存 (SD→HDD) を選ぶ		3  登録ポイントファイル保存 (SD→HDD) を選ぶ	4  登録ポイントファイル保存 (SD→HDD) を選ぶ	
登録ポイントを読み込む	1地点 全地点	登録ポイント を選ぶ	リストから登録ポイントのファイルを選ぶ	1地点ずつ を選び、 リストから地点を選ぶ 全地点一括 を選ぶ	すでに登録されているポイントを読み出すと、同じ地点に登録ポイントが複数あることとなります。不要な場合は消去してください。呼び出す登録ポイントと本機の登録ポイントの合計が200を超える場合は呼び出せません。必要に応じて本機から消去してください。消去のしかた (☞54ページ)	
ルート設定メモリーを読み込む		ルート設定メモリー を選ぶ	リストからルート設定メモリーのファイルを選ぶ		ルート設定メモリーが本機に5件ある場合は呼び出せません。必要に応じて本機から消去してください。(☞60ページ)	
走行軌跡メモリーを読み込む		軌跡メモリー を選ぶ	リストから走行軌跡メモリーのファイルを選ぶ		走行軌跡メモリーが本機に3件ある場合は呼び出せません。必要に応じて本機から消去してください。(☞58ページ)	
ドライブルートを読み込む	1ルート 全ルート	ドライブルート を選ぶ	1ルートずつ を選ぶ 全ルート一括 を選ぶ	リストからドライブルートのファイルを選ぶ リストからドライブルートのフォルダを選ぶ	ドライブルートが本機に100件ある場合は呼び出せません。必要に応じて本機から消去してください。(☞62ページ) 全ルート一括で保存する場合、SDメモリーカードから保存するドライブルートと本機のドライブルートの合計が100件を超えた時点で保存を中止します。	
企業ランドマークを更新する		企業ランドマーク を選ぶ	リストからランドマーク情報データを選ぶ		弊社サイトからランドマーク情報データをダウンロードしてください。CN-HD9000シリーズ用のランドマーク情報データを、本機で使うことはできません。地図上で更新されたランドマークは、検索データには反映されません。	
マップルデータを読み込む		マップルデータ を選ぶ	リストからマップルデータを選ぶ		マップルデータ[カスタム情報交換ファイル(拡張子RCX)]をパソコンで作成してください。	
静止画を読み込む JPEGファイル(拡張子JPG)		静止画データ を選ぶ			SDメモリーカード内のすべての静止画データが保存されます。(2階層まで☞116ページ)	
動画を読み込む MPEG4ファイル(拡張子ASF)		動画データ を選ぶ			SDメモリーカード内のすべての動画データが保存されます。(2階層まで☞120ページ)	
音楽データを読み込む MP3ファイル(拡張子MP3)		音楽データ を選ぶ	リストから保存したいファイル/フォルダを選ぶ (☞110ページ)	保存先のフォルダを選ぶ		

データを消去・初期化する

SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源または車のACCをOFFにしないでください。

ハードディスク内のファイルを消去する

- 1 メニュー画面 **データ** から **消去** を選ぶ
- 2 **HDDファイル消去** を選ぶ
- 3 ファイルの種類を選ぶ
- 4 消去したいファイル/フォルダを選ぶ
- 5 **決定** を選ぶ

ファイルが消去されます。
フォルダ内表示 を選ぶと、フォルダ内のファイル/フォルダが表示されます。

SDメモリーカード内のファイルを消去する

本機にSDメモリーカードが入っていることを確認してください。

- 1 メニュー画面 **データ** から **消去** を選ぶ
- 2 **SDカードファイル消去** を選ぶ
- 3 消去したいファイルを選ぶ
- 4 **確認** を選ぶ

ファイルが消去されます。

お知らせ
登録ポイントの保存ファイルを消去すると、そのファイルの中に保存されていた登録ポイントはすべて消去されます。(登録ポイントごとには消去できません。)

SDメモリーカードを初期化する

- 1 メニュー画面 **データ** から **消去** を選ぶ
- 2 **SDカードの初期化** を選ぶ
- 3 **確認** を選ぶ

初期化が完了します。

お知らせ
本機以外の機器(パソコンなど)でSDメモリーカードを初期化した場合、本機では使用できないことがあります。そのときは、本機で初期化してから使用してください。初期化すると、SDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。

消去・初期化により消滅したデータは、もとに戻せません。消去・初期化は、十分確認したうえで行ってください。

音楽データを保存する

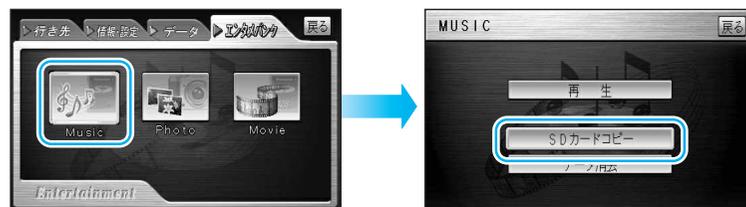
音楽データの保存/消去については、「ファイル作成時の留意点」も併せてご覧ください。
(P.100ページ)

保存は、メニュー画面 **データ** **SD** **SD HDD** **音楽データ**、
消去は、メニュー画面 **データ** **消去** **HDDファイル消去** **音楽データ** でもできます。

音楽データを保存する

MP3の音楽データを本機に保存できます。
アルバム別やアーティスト別など、用途に応じてフォルダにまとめることもできます。

- 1 メニュー画面 **エンタメバンク** から **Music** を選ぶ
- 2 **SDカードコピー** を選ぶ



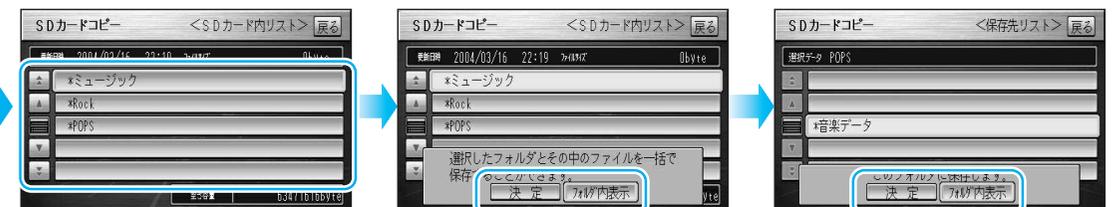
SDメモリーカード内のフォルダおよび音楽データファイルのリストが表示されます。

お知らせ

容量によっては保存できない場合があります。
ハードディスクの使用状況を確認してください。(P.8ページ)
保存に数分かかることがあります。
1曲だけ保存するときは、保存完了の割合を示すバーが動かない場合がありますが、故障ではありません。

保存中に、本機の電源または車のACCをOFFにすると、正常に保存されません。
保存された音楽データを消去し、保存しなおしてください。
本機に保存された音楽データを、他の機器などに移動・コピーできません。マスターのMP3ファイルは、パソコンなどに保存しておくことをお勧めします。

- 3 保存するフォルダ/ファイルを選ぶ
- 4 保存先のフォルダを選ぶ



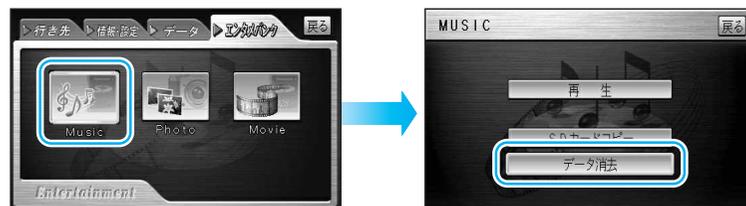
フォルダとフォルダ内の音楽データをすべて保存するとき
フォルダを選び、**決定** を選ぶ。
下の階層を表示するとき
フォルダを選び、**フォルダ内表示** を選ぶ。
ファイルを選んで保存するとき
ファイルを選び、**決定** を選ぶ。

選んだフォルダに保存するとき
決定 を選ぶ。
下の階層を表示するとき
フォルダを選び、**フォルダ内表示** を選ぶ。

音楽データを消去する

消去した音楽データは、もとに戻せません。
十分確認したうえで行ってください。

- 1 メニュー画面 **エンタメバンク** から **Music** を選ぶ
- 2 **データ消去** を選ぶ



- 3 消去したいフォルダ/ファイルを選ぶ

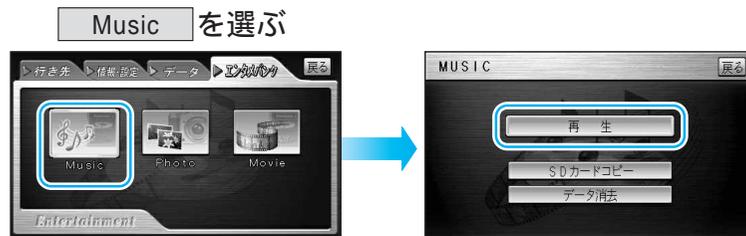


フォルダを選んで消去するとき
フォルダを選び、**決定** を選ぶ。
下の階層を表示するとき
フォルダを選び、**フォルダ内表示** を選ぶ。
ファイルを選んで消去するとき
ファイルを選び、**決定** を選ぶ。

音楽データを再生する

音楽データを再生する

① メニュー画面「エンタメバンク」から ② 「再生」を選ぶ



ミュージックリストが表示されます。

③ フォルダまたはファイルを選ぶ



フォルダを選んだ場合
フォルダ内の曲のリスト
が表示されます。
ファイルを選んだ場合
選んだ曲が再生されます。

ミュージックリストの基本操作

曲番号/タイトル表示
ファイル名またはID3 Tag(曲名)を表示

再生中の曲 動作状態 再生経過時間



曲を探す(スキャン)(☞114ページ)
順不同に聞く(ランダム)(☞114ページ)
繰り返し聞く(リピート)(☞114ページ)

頭出しする

⏮ ⏭ にタッチする

早送りする

⏭ にタッチする

早戻しはできません。
通常の再生に戻すには
▶/|| にタッチする。

一時停止する

再生中、▶/|| にタッチする

通常の再生に戻すには
再度 ▶/|| にタッチする。

詳細情報(ID3 Tag)を表示する

リモコン操作のみ

ミュージックリスト表示中に

⏏ を押す



ID3 Tagの情報を表示
・曲名
・アーティスト名
・アルバム名

再生中の曲の詳細情報が表示されます。

リモコン操作の場合

ジョイスティック/決定
リストから曲を選ぶ

⏮ ⏭
頭出し

オートメモリー(+)

早送り

⏏

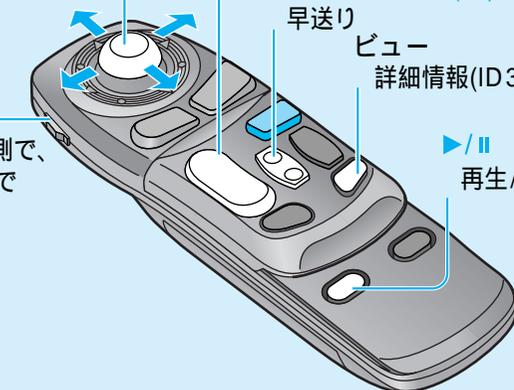
ビュー
詳細情報(ID3 Tag)を表示する

▶/||

再生/一時停止

操作切替スイッチ

黒字のボタン操作時は「NAVI TV」側で、
青字のボタン操作時は「MUSIC」側で
お使いください。



音楽データを再生する

繰り返し聞く

(リピート)

REPEAT を選ぶ



選ぶごとに切り替わります。



: 全曲を繰り返し再生する。



: 再生中のフォルダ内の曲を繰り返し再生する。



: 再生中の曲を繰り返し再生する。

順不同に聞く

(ランダム)

再生中のフォルダ内の曲が
順不同に再生されます。

RANDOM を選ぶ



通常の再生に戻すには

RANDOM を選ぶ。

曲を探す

(スキャン)

再生中のフォルダ内の曲を、
約10秒ずつ再生し、一周する
ともとの曲の先頭に戻ります。

SCAN を選ぶ



通常の再生に戻すには

▶/|| にタッチする。

地図画面で 音楽データを 再生する

音楽データ再生中に、

を押す



音楽データを再生したまま、
現在地画面が表示されます。



停止するには
サブメニューから、

STOP を選ぶ

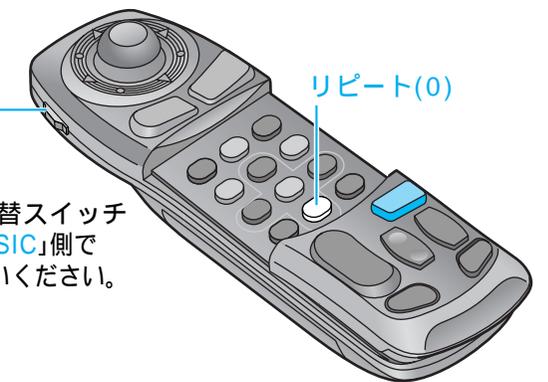


もう一度再生するには、
サブメニューから
PLAY を選んでください。

リモコン操作の場合

0 を押す

押すごとに切り替わります。



操作切替スイッチ
「MUSIC」側で
お使いください。

リピート(0)

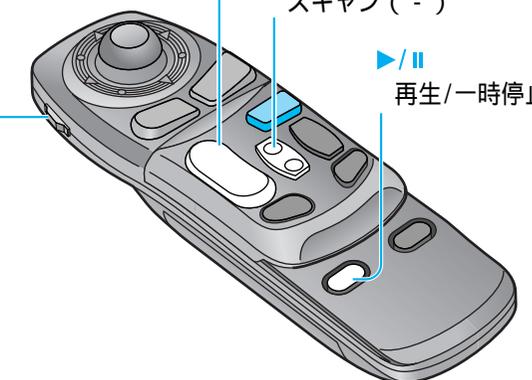
リモコン操作の場合

操作切替スイッチ
「MUSIC」側で
お使いください。

頭出し

オートメモリー
早送り (+)
スキャン (-)

再生/一時停止



静止画データを利用する

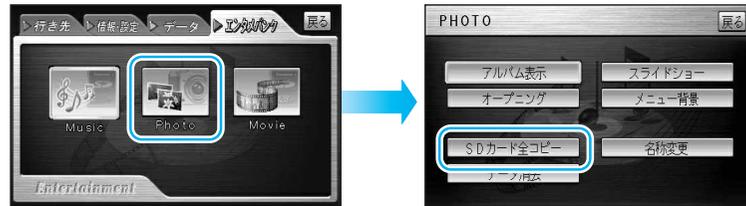
保存は、メニュー画面 **データ** **SD** **SD HDD** **静止画データ**、
 消去は、メニュー画面 **データ** **消去** **HDDファイル消去** **静止画データ** でもできます。

静止画データの保存/消去については、「ファイル作成時の留意点」も併せてご覧ください。
 (100ページ)

静止画データを保存する

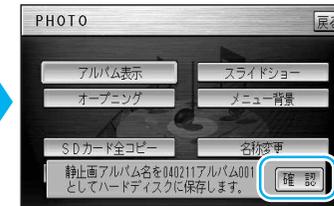
デジタルカメラで撮影したJPEG画像などの静止画データを本機に保存できます。

- 1 メニュー画面 **エンタメバンク** から **Photo** を選ぶ
- 2 **SDカード全コピー** を選ぶ



「PHOTO画面」が表示されます。

- 3 **確認** を選ぶ



新しいアルバム(フォルダ)が自動的に作られ、SDメモリーカード内の静止画データが保存されます。

お知らせ

本機に保存できるのは、DCF規格に準拠したJPEGファイルです。DCF規格に準拠していないJPEGファイルは、保存できない、または正しく再生できない場合があります。アルバム名は、保存した日時が自動的に付けられます。

静止画データの名称を変更する

静止画データやアルバムの名称を変更できます。

- 1 「PHOTO画面」から **名称変更** を選ぶ
- 2 アルバムを選ぶ



- 3 (**フォルダ内表示** を選んだ場合) **ファイルを選ぶ**
- 4 名称を入力し、 **完了** を選ぶ



アルバムの名称を変更するとき **決定** を選ぶ。
 下の階層を表示するとき **フォルダ内表示** を選ぶ。

静止画データを消去する

消去した静止画データは、もとに戻せません。十分確認したうえで行ってください。

- 1 「PHOTO画面」から **データ消去** を選ぶ
- 2 アルバムを選ぶ



- 3 (**フォルダ内表示** を選んだ場合) **ファイルを選ぶ**
- 4 **確認** を選ぶ



選んだアルバムを消去するとき **決定** を選ぶ。
 下の階層を表示するとき **フォルダ内表示** を選ぶ。

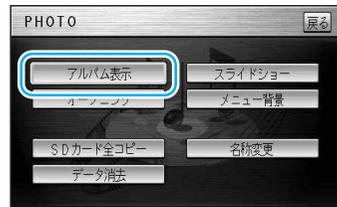
選んだファイルが消去されます。

静止画データを利用する

静止画を表示する

SDメモリーカードまたは本機のHDD内の静止画データを見ることができます。

1 「PHOTO画面」から
アルバム表示 を選ぶ



2 メディアを選ぶ



S D : SDメモリーカード内の静止画を表示
H D D : HDD内のアルバムを表示

3 ファイルを選ぶ



静止画が表示されます。



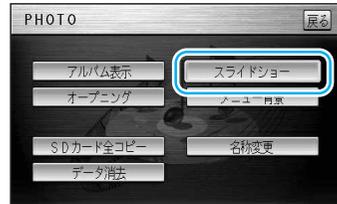
◀▶で次の静止画を表示
回転を選ぶか、リモコンの を押すと、静止画を回転できます。



スライドショーを楽しむ

SDメモリーカードまたは本機のHDD内の静止画データを連続で表示します。

1 「PHOTO画面」から
スライドショー を選ぶ



2 メディアを選ぶ



S D : SDメモリーカード内の静止画を表示
H D D : HDD内のアルバムを表示

3 (HDD を選んだ場合)
アルバムを選ぶ



静止画が表示されます。



スライドショーを終了するには、画面にタッチするか、リモコンの を押してください。

お知らせ

リモコン操作のみ

ジョイスティックを左右に動かして、前の画像/次の画像を選べます。

静止画をオープニング/メニュー背景に利用する

(使用例)



1 「PHOTO画面」から
オープニング/メニュー背景 を選ぶ



2 アルバムを選ぶ



3 (フォルダ内表示) を選んだ場合
ファイルを選ぶ



選んだアルバム内の静止画を、順番に表示するとき

決定 を選ぶ。

下の階層を表示するとき

フォルダ内表示 を選ぶ。

プレビュー でアルバム内の静止画の内容を確認できます。

4 決定 を選ぶ



プレビュー で内容を確認できます。

動画データを利用する

保存は、メニュー画面 **データ** **SD** **SD HDD** **動画データ**、
 消去は、メニュー画面 **データ** **消去** **HDDファイル消去** **動画データ** でもできます。

動画データの保存/消去については、「ファイル作成時の留意点」も併せてご覧ください。
 (100ページ)

動画データを保存する

デジタルカメラなどで撮影したMPEG4の動画データを本機に保存できます。



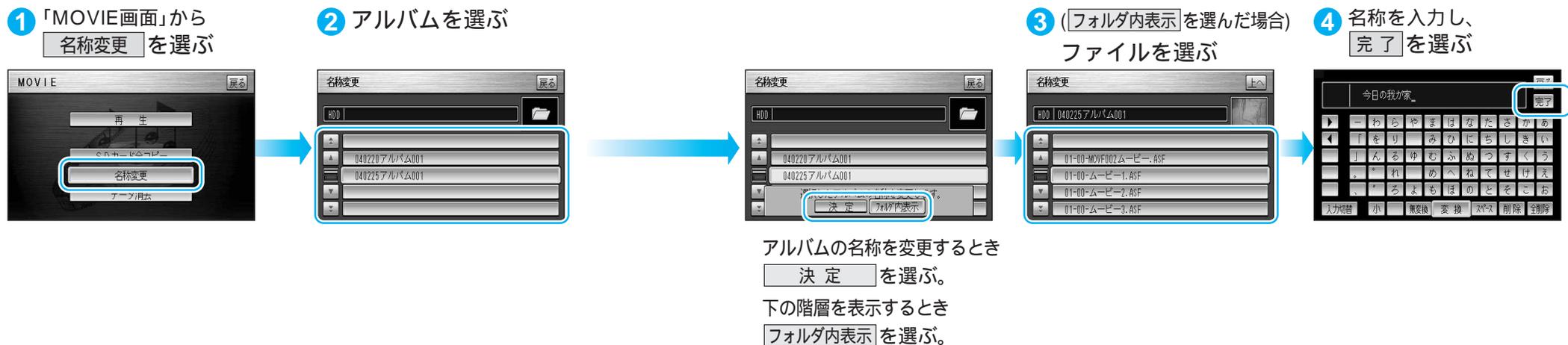
お知らせ

本機に保存される動画データは、SD VIDEO規格に準拠したMPEG4 (ASF形式)のデータです。DCF規格に準拠していないMPEG4 (ASF形式)のデータは、保存できない、または正しく再生できない場合があります。

アルバム名は、保存した日時が自動的に付けられます。

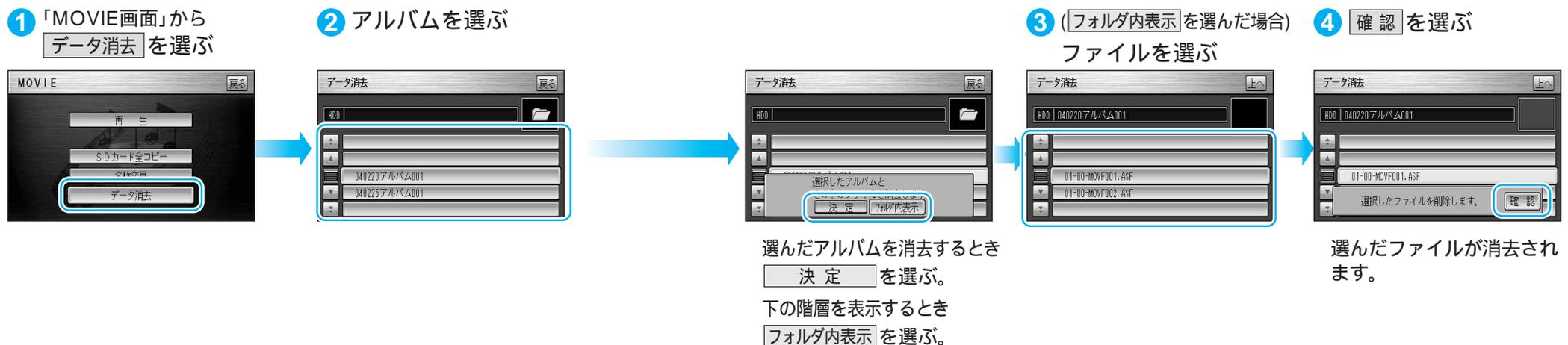
動画データの名称を変更する

動画データやアルバムの名称を変更できます。



動画データを消去する

消去した動画データは、もとに戻せません。十分確認したうえで行ってください。



他の機器(別売品)と組み合わせて使う

車載用カメラに切り替える

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

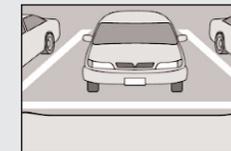


カメラの映像が表示されます。
モードをカメラに切り替えたときも、
表示されます。

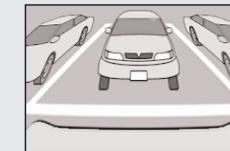
お願い

車両をバックさせる際には、必ず目視で確認してください。

実際の視野



カメラの視野



カーオーディオと組み合わせる

本機の音声出力コードに接続している場合

カーオーディオを、AUX に切り替える。

本機の音声は、カーオーディオから出力されます。

本機を接続したモードに設定してください。

本機の音声をFMラジオから聞く場合(FMトランスミッター)

カーオーディオをFMラジオに切り替え、周波数をFMトランスミッターの設定にする。

本機の音声は、FMラジオから出力されます。

(FMトランスミッターの周波数を変更するには 96ページ)

お知らせ

本機の音量を「0」にしても、FMトランスミッターおよび音声入出力コードからは音声が出力されません。

本機に内蔵のスピーカーから出力される音は、モノラルです。

カーオーディオから出力される音声について
ナビゲーション、テレビの音声はモノラルです。

お願い

「AV音声出力」を「しない」に設定してください。(96ページ)

音量調整は、カーオーディオ側で行ってください。

FMトランスミッターの周波数がFM文字多重放送の放送局と周波数が同じとき(または、0.1MHzしか差がないとき)は、周波数を変更してください。(96ページ)

混信をさけるために、FMトランスミッターを使用しないときは、「しない(OFF)」にしてください。(96ページ)

車載用ビデオなどと組み合わせる

 を押して、VTR画面に切り替える。

本機に、車載用ビデオなどの映像が表示されます。



準備

必ず「ビデオ入力」を「する」に設定してください。(96ページ)

お知らせ

走行中は、VTRの映像は表示されません。安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

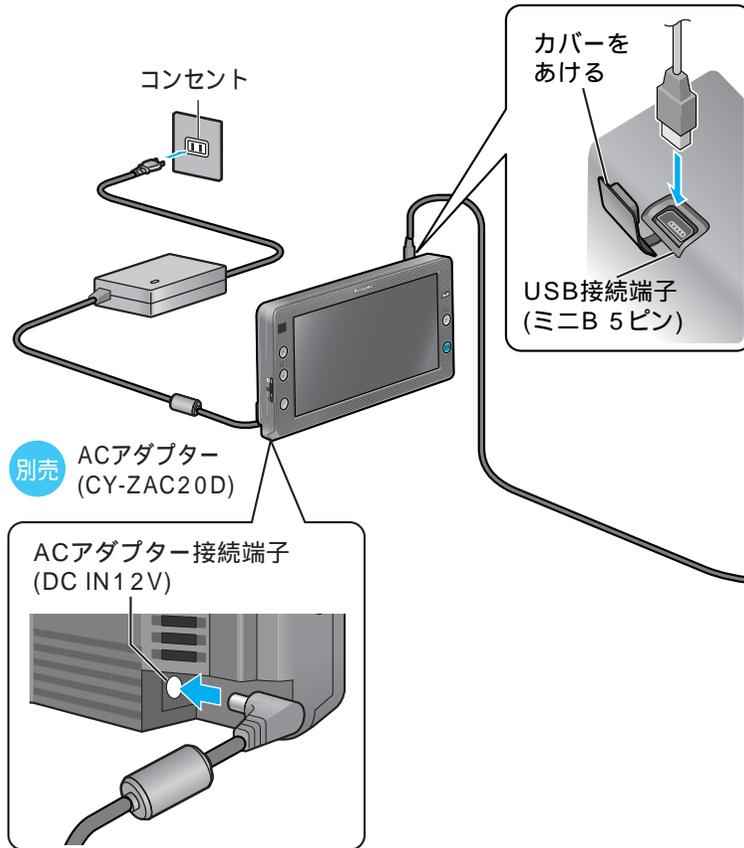
VTR画面のアスペクト/明るさ/色の濃さ/色合いは、テレビ画面と同じになります。

他の機器(別売品)と組み合わせて使う

家庭用電源で使う

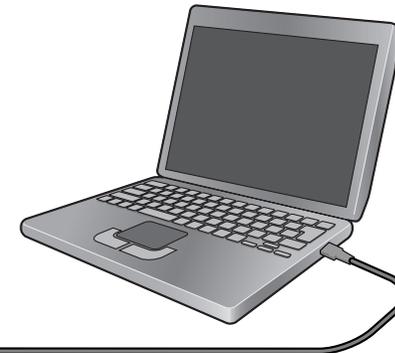
ACアダプター(CY-ZAC20D)を接続し、家庭用電源で使えます。

USBケーブルでパソコンと接続すると、パソコンと直接データの送受信ができます。



別売 Windowsパソコン

推奨環境について、詳しくは、PCリンクソフトの取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。
推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。



別売 USBケーブル [RP-CDUAMB15 (1.5 m)] [RP-CDUAMB30 (3 m)]

USBケーブルは、必ず推奨品をお使いください。
推奨品以外をお使いになると、本機がパソコンに正しく認識されない場合があります。

お願い

専用のACアダプター以外は使用しないでください。
故障の原因になります。

本機にACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いてください。

お知らせ

本機にACアダプターを接続して使用しているときは、下記の制限があります。

VICS情報は受信できません。
TV放送やFM多重放送は受信できません。

現在時刻は表示されません。
(地図画面には「- - : - -」と表示されます)

ファイルの保存や地点などの登録を行うと、登録日時、アルバム名の日時等が正しく保存されません。

走行軌跡が一部表示されない場合があります。

本機とパソコンでデータのやり取りをする (PCリンク)

準備

弊社ダウンロードサイトから、PCリンクツールをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。
(URL: <http://download.mci-fan.jp/download/com/user/menu>)
本機とパソコンをUSBケーブルで接続してください。
詳しくは、PCリンクツールの取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

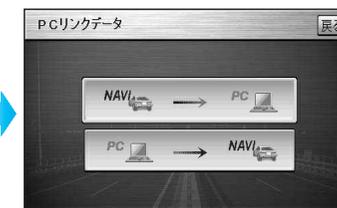
PCリンクツールについて

PCリンクツールは、Windows XP/2000用と、Windows Me/98用があります。

ダウンロードする際は、お使いのパソコンのOSに対応したソフトをダウンロードしてください。
Windows NTシリーズおよびWindows 95には、対応していません。

Windows 98では、スタンバイ状態復帰後にUSBデバイスを認識しないなどの不具合が発生する場合があります。Windows 98を使用する場合は、スタンバイモードにならないように設定を変更するか、Windows 98 SE以降のバージョンへのバージョンアップをお奨めします。

1 メニュー画面「データ」から「PC」を選ぶ



以降の操作は、PCリンクツールの取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

本機のデータをパソコンに保存する場合
NAVI PC を選ぶ

パソコンのデータを本機に保存する場合
PC NAVI を選ぶ